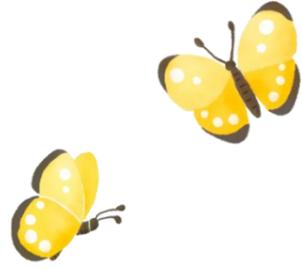


# 令和6年度 学校評価の取り組み報告

## ～ダイジェスト版～



### 【今年度の取り組み状況】

#### 夏1回目実施

##### 1、研修・研究への意欲態度

- ①「研修会や研究会には自己課題を持って参加し、事前にその内容を確認したり自分なりの考えをまとめている」の項目について、全体的な評価は悪くなかったものの「研修会への自己課題は内容を知ろうとはしているが、自分なりの考えまでまとめていない」「研修報告書の事前報告を忘れてしまうことがある」などの具体例を挙げて評価を低くしている職員がいた。
- ②職員が学びたい・必要と感じる研修とは？についてグループディスカッションを行った

##### ○グループディスカッションを通して

様々な研修の在り方に気づくことが出来た

【園内研修(講師必要あり)】例:個別支援について、健康、安全、乳児保育

【園内研修(自分たちで企画)】例:保護者対応、異年齢保育の連携、ICT、幼保小連携

【園外研修】例:保育向上(実技)、園運営、職員間の連携、製作

【その他】例:園にとって必要な研修を精査する、職員が学びたい研修をリスト化する  
また、学びを有効的に実践するために出来ることのアイディアを出し合った

#### 改善策

- ・報告書の様式を変更し、どの分野の研修を受けたのかが分かるようにする。また、朝礼時に研修で学んだポイントを端的に伝える。
- ・2歳児クラスから3歳児クラスへの進級支援に伴う園としての目標や指針を明確にする(書式作り)
- ・研修報告書の閲覧方法をアプリで配信し、職員がいつでも見られるようにする、報告書を分野別にファイルする事で後からアクセスしやすくする、職員が自ら学びたいと思う分野の研修の希望を取る(書式づくり)

#### 冬2回目実施

##### 1、研修・研究への意欲態度

夏の自己点検自己評価の改善策で詳細が決まっていなかったり、実行できていないものに着目し、再度グループディスカッションを行った

##### ○グループディスカッションを通して

###### 【Aグループ】

- ①職員が外部で受講してきた研修内容で、①自分が職員に伝えたいと思った研修 ②他職員が受講した研修でより詳しく知りたいと思った研修について意見を出し合う
- ②出し合った意見を分類して、研修内容を伝える範囲を「クラス内」「全体」「企画して園内研修」の3つの基準を作り判断できるようにする

###### 【Bグループ】

2歳児から3歳児クラスの進級に向けて1月から3月に職員が配慮すると良いと思う事について意見を出し合った

#### 改善策

- ・未満児:園児数が増えることにより、携わる職員が増え情報共有する機会が多い。何をどのように伝え合うか、情報共有の優先順位を作る
- ・以上児:園児数が減っている中で、担任・副担任の職員配置が必要かどうかを考える。園児何人までなら1人で担任すべき人数か、1人担任+補助でクラス運営する方法について具体的方策を考える

- ①「2歳児から3歳児クラスの進級に向けて1月から3月に職員が配慮すると良いと思う事」を表にし、2歳児の月案週案に挟むようにし、保育の中で意識して行っていく
- ②今回のグループディスカッションで話し合った③について引き継ぎの資料作成時に使えるようなテンプレートを作成する→令和6年度から7年度の引き継ぎの際に使用する

→改善点があれば修正し、R8年度の引き継ぎ時に使用

#### 【学校関係者の評価】

- ・年長クラス とてもよく話が聞けていた。学習に繋がる
- ・製作活動では時間差ができるが、活動終わった子への的確なタイミングで次の課題を示しており、こどもたちも集中を保ったままクラス活動が行われていた
- ・年中児クラス 自分たちが1年間でできるようになったことを言葉で伝えるだけでなく視覚化しておりこどもたちにも伝わりやすかった
- ・保育の中で天気や曜日など保育者が自然と英語を取り入れていた。英語教室で習っていることを普段の保育で取り入れており、素晴らしいと感じた
- ・同じ園の中だが2歳から3歳に向けての保育者の配慮がこんなに細かくされている素晴らしい。
- ・年中クラス 先生方へのプレゼントの花づくりを行っていた。何のために作るのかを一人ひとりが理解し、感謝の気持ちを持って作っていた
- ・以上児と未満児と違いはあるが、保育者一人ひとりが子ども一人ひとりを丁寧に看取って関わる基本ができていると感じた

